

「表現」の授業

のびのびと表現する

音読

歌

体育

絵



音読してみましょう

石川 啄木

ふるさとの 訛なつかし

停車場の 人ごみの中に

そを 聴きにゆく

一般的な
音読・歌



棒読み 形式的

⇒ ただ音を出すだけ



手入れ
集団の力

追求した
音読・歌

表現読み 創造的

⇒ 言葉の意味が伝わる

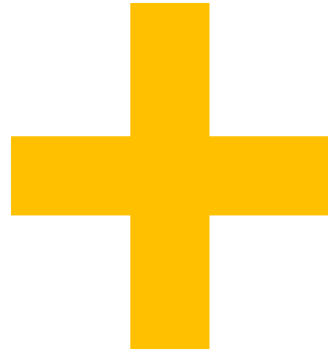


表現とは？

何 を

発見・感動

伝えたい
内 容



どのように

より効果的に

伝える
技 法

表現力アップのために

伝えたい
内 容

伝える
技 法

I

音読 歌

深い
イメージ

+

声

II

体育

深い
イメージ

+

体の動き

III

絵

深い
イメージ

+

手の動き



I

音読

歌

深い
イメージ

+

声





歌ってみましょう

ふじの山

♩=80

C G7

あ たま を く もーの う えに だー し

C F G7 C

し ほう の や ーま を み おろーしー て

G7 C F C

か みな り さーまーを し たに き く

F C A7 \vee Dm7 G7 C

ふ じ は にーっ ぽ ん い ち の や ま

ポイント1 のどを開ける

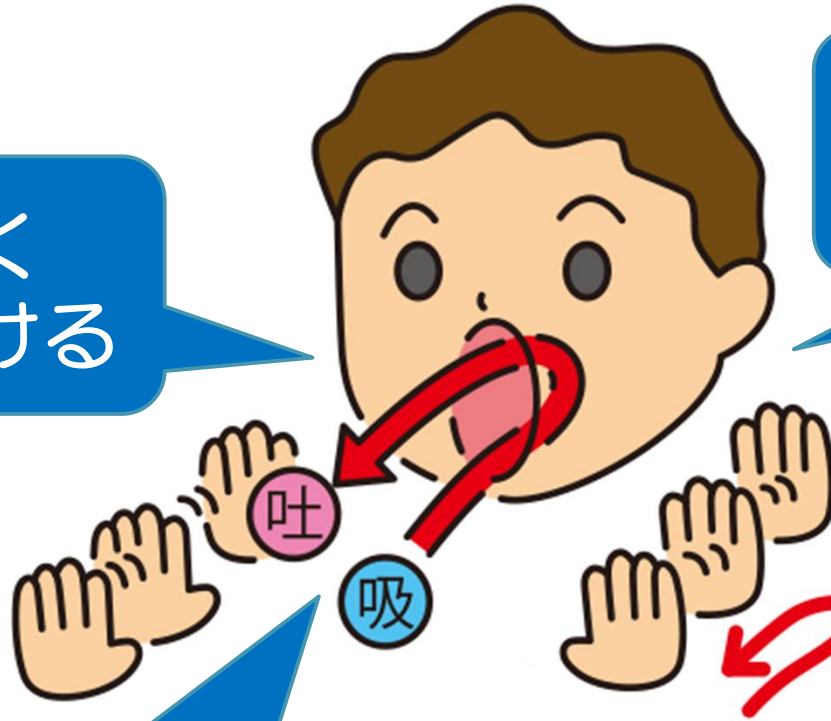
びっくりスローモーション

口は大きく
たてに開ける

「びっくり！」の
動作をスローで行う

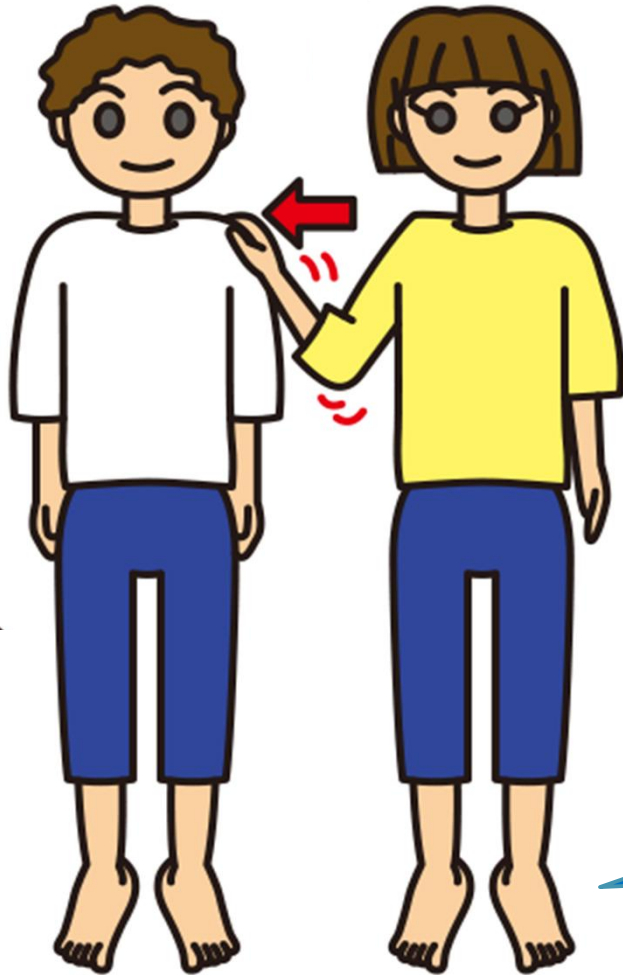
手も呼吸も
流れを止めない

息をたくさん吸って
ため息混じりの声を出す



ポイント2 身体に軸をつくる

へなちょこ度チェック



2人の間はおぶし2～3個分
1回だけぐいっと肩を押す

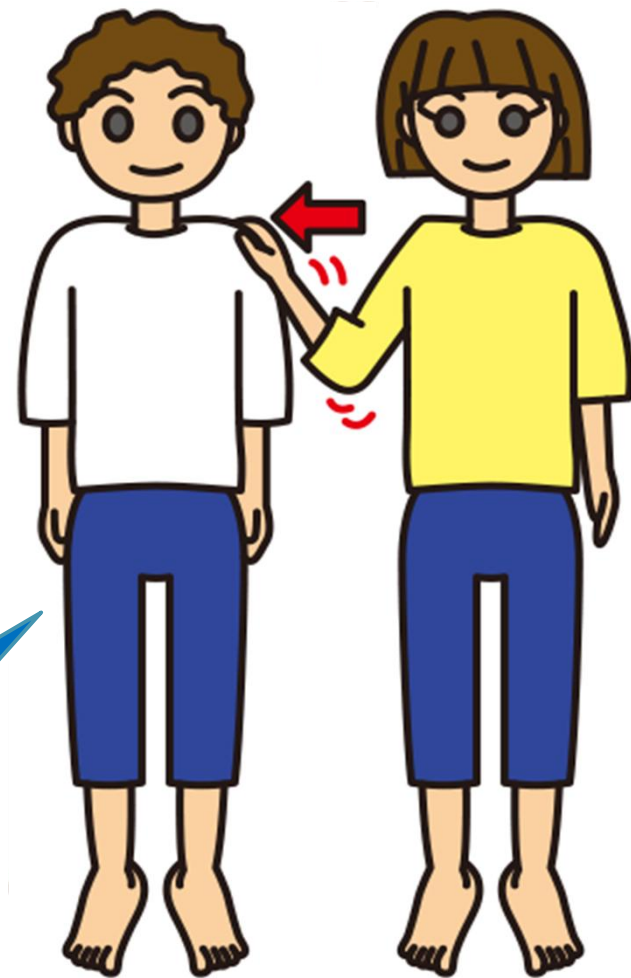
つま先 ⇒ 前に向ける
足 ⇒ 肩幅に広げる

水ジャージャー



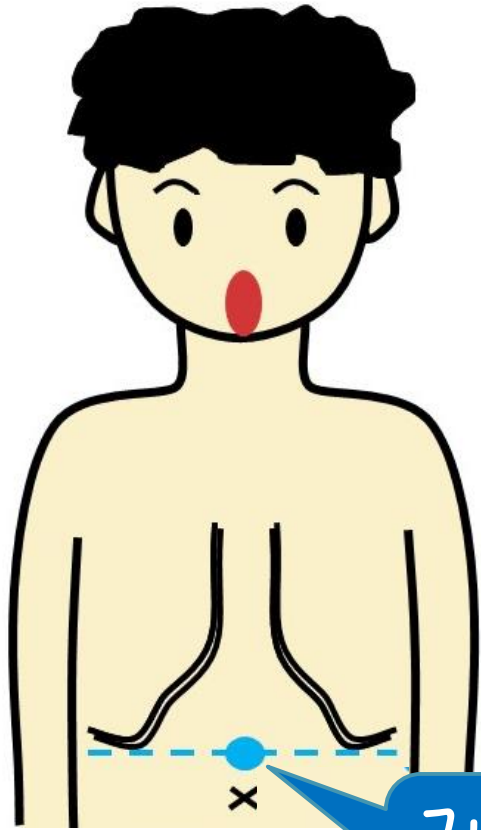
腰のタンクから
おしりに向かって
勢いよく水が流れて
いくイメージをする

水ジャージャーを
しながらもう一度
チェックする



ポイント3 お腹から声を出す

ポコハー



みぞおちに
拳を押し込む



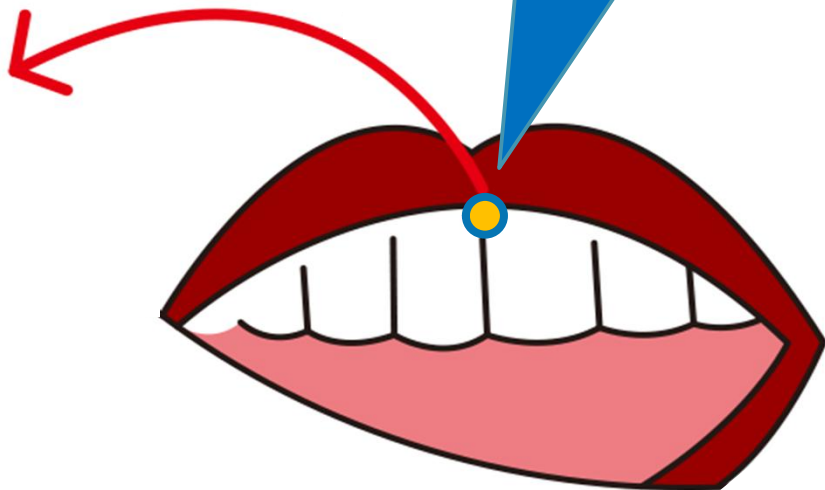
ポコッ

拳をポコッと
押し出す
同時に口を縦に
開け「ハー」と
声を出す

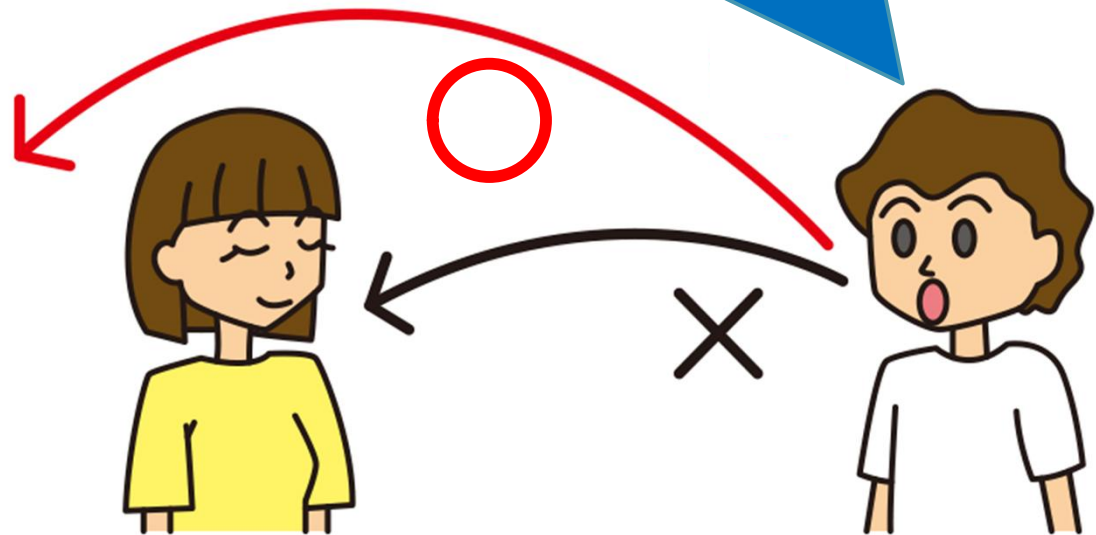
ポイント4 芯のある「通る声」を出す

歯に穴

上の前歯と歯茎の間に
小さな穴が開いている
ことをイメージする



その穴から放物線を描いて
相手を越えてピューッと
出ていくことをイメージ
して発声する



ポイント5 発声と歌をつなぐ

クッション練習法

- ① 1音ずつ「ハァー」「ハァー」…でゆっくり歌う
- ② 1フレーズを「ハァーーーーー」で少し速く歌う
- ③ 1音ずつ歌詞でゆっくり歌う
- ④ 歌う







ふじの山

巖谷小波

冒頭の「あ」

あたまを雲の上に出し

四方の山を見おろして

かみなりさまを下にきく

ふじは日本一の山

青ぞら高くそびえたち

からだに雪のきものきて

かすみのすそをとおくひく

ふじは日本一の山



冒頭の「あ」

紅葉（1番）

秋の夕日に

秋の夕日を浴びて
美しく輝く

照る山もみじ

濃いも薄いも

数ある中に

松をいろいろの

楓や蔦は

山のふもとの

裾模様





冒頭の「あ」

紅葉（2番）

溪（た）の流れに

散り浮くもみじ

谷川の
せせらぎ
に揺らぐ
美しい葉

波にゆられて

離れて寄って

赤や黄色の

色様々に

水の上にも

織る錦



冒頭の「あ」

あゝあゝあゝあゝ

吉野山に咲き誇る
三万本の桜に圧倒

あゝあゝあゝあゝ

野山も 里も

見わたす かぎり

かすみか 雲か

朝日に おう

あゝあゝあゝあゝ

花びから



Ⅱ

体育

深い
イメージ

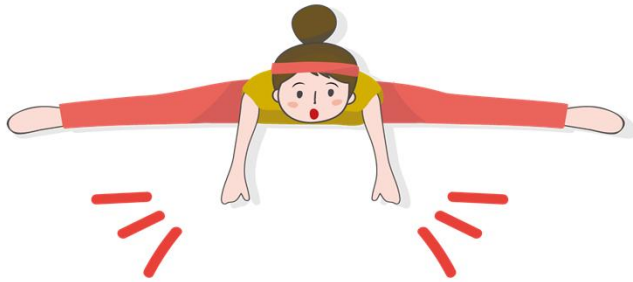
+

体の動き



ポイント1 柔軟性を高める

横開脚



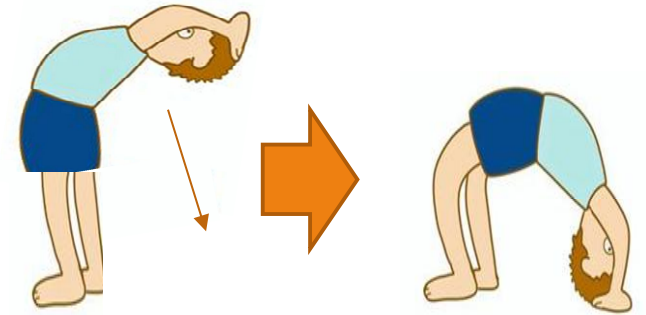
縦開脚



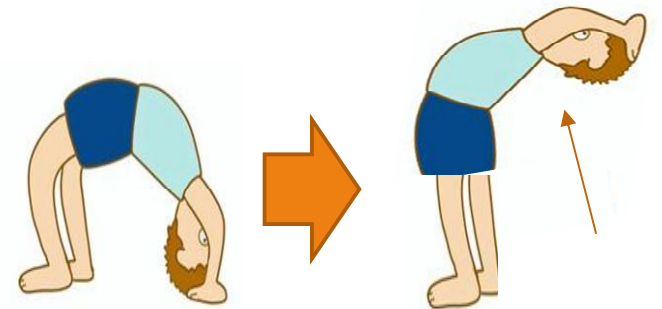
Y字バランス



立ちブリッジ



起きブリッジ







ポイント2 子ども同士で教え合う

教え合い



ポイント3 仲間との交流を通じた心身の解放

ステップ表現





Ⅲ

絵

深い
イメージ

+

手の動き



ポイント よく観て描く

クロッキー

